

第5次利根町総合振興計画策定のための まちづくり住民ワークショップ報告書

目次

I	まちづくり住民ワークショップの概要.....	1
1	まちづくり住民ワークショップの目的と役割.....	1
2	まちづくり住民ワークショップの運営方法について.....	1
3	まちづくり住民ワークショップの内容.....	2
II	委員意見のまとめと方向性.....	3
III	委員意見.....	4
	Aグループ意見.....	4
	Bグループ.....	6
	第1回の委員意見.....	10

平成 29 年 12 月

I まちづくり住民ワークショップの概要

1 まちづくり住民ワークショップの目的と役割

(1) 目的

第5次利根町総合振興計画の策定においては、幅広い関連分野の体系が整った計画であることが求められるとともに、その策定過程が何より大切です。したがって、専門家や行政職員だけが関わるだけではなく、当事者＝町民参加・参画が最も重要なポイントとなります。

そこで町民視点での計画策定、町民起点での計画実践に向けて、ワークショップを開催しました。

(2) 役割

まちづくり住民ワークショップでは、次に掲げる事項に関して、町民が協議を行い、その中で出た意見やアイデアをまちづくり住民ワークショップ報告書として、庁内の総合計画策定組織に提案します。

- ①町民の視点で利根町を「住み続けたいまち」にするために何が必要か考えます。
- ②利根町のまちづくりの方向性を導き出します。
- ③利根町の特性と課題なども踏まえ、施策の大綱（各分野）の解決策に反映します。

2 まちづくり住民ワークショップの運営方法について

まちづくりワークショップでは、ご参加いただいた皆様に、日ごろ生活する中で、利根町をより「住み続けたいまち」にするために、なるべく多くの意見を出していただくことが、重要となります。そこで、まちづくり住民ワークショップでの話し合いは、KJ法を用いて実施しました。

(1) KJ法について

「KJ法」とは、話し合いの中で出されたアイデアや意見、情報を1枚ずつ小さなカード（ふせん紙）に書き込み、それらのカードの中から近いと感じるもの同士を2、3枚ずつ集めてグループ化していき、それらを小グループから中グループ、大グループへと組み立てて図解していくことです。このような作業の中から、テーマの解決に役立つヒントやひらめきを生み出していくとする技法の1つです。

(2) ワークショップの基本的な流れ

- ①テーマに沿って意見を出し合う。
- ②話し合いながら意見をまとめていく。
- ③意見がまとまったら発表する。

3 まちづくり住民ワークショップの内容

まちづくり住民ワークショップは、3回開催し、協議を行いました。開催内容は、以下のとおりです。

第 1 回	
日 時	平成 29 年 11 月 19 日（日） 10：00～12：00
場 所	利根町役場 多目的ホール
内 容	1 開 会 2 町長あいさつ 3 総合振興計画について 4 まちづくり住民ワークショップについて 5 自己紹介 6 まちづくり住民ワークショップの実施 7 閉 会

第 2 回	
日 時	平成 29 年 12 月 3 日（日） 10：00～12：00
場 所	利根町役場 多目的ホール
内 容	1 開 会 2 まちづくり住民ワークショップの実施 3 閉 会

第 3 回	
日 時	平成 29 年 12 月 10 日（日） 10：00～12：00
場 所	利根町役場 多目的ホール
内 容	1 開 会 2 まちづくり住民ワークショップの実施 3 あいさつ 4 閉 会

Ⅱ 委員意見のまとめと方向性

第2回及び第3回のワークショップにおいて、各グループで分野を設定し、各分野の課題、強み、弱み、方向性、実現するための取り組み・アイデアを協議しました。

各グループの分野は以下のとおりです。

	分野
Aグループ	○農業、観光 ○子育て、生活、教育 ○交通 ○健康
Bグループ	○自然、土地、空家 ○農作物、農業 ○今ある資源の活用 ○地域交流（町内、町外、他市町村） ○防災 ○子育て ○高齢者 ○PR、情報、全般 ○交通

〔主な方向性〕

① 自然、農作物などを活かした利根町の魅力発信

- ・自然、特に利根川を活用した魅力発信。
- ・川をはさんだ市町村の交流。
- ・特産物直売所、農家レストランなどを活用した魅力発信。
- ・農産物を活用した都市との交流。
- ・とねリンなどを活用したPRの強化。

② 若い家族が住みたくなるまち

- ・子育てしやすいまち。
- ・ウエルネス大学を活用した運動、教育。
- ・自然、廃校などを利用した子どもたちの遊び場。

③ 高齢者が元気なまち

- ・老人力、元気な高齢者をまちのウリにする。
- ・健康ポイント制度による健康寿命の延伸。

④ 町民と行政のつながりが強いまち

- ・情報共有と情報交換を充実。
- ・役場のホールや食堂、屋上の開放。

Ⅲ 委員意見

Aグループ意見

分野	農業、観光	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史館、小林一茶など一つにまとめて建設してほしかった。 ・歴史的なものが多くある。 ・歴史的なものが知られていない。 ・観光資源の活用（花火、文化、祭り）。 ・豊かな自然を活かしつつ、サイクリングコースや遊歩道の整備。 ・いろいろなものが中途半端、集約してはどうか。 ・PR方法（SNS、フェイスブック）。 ・他市町村との連携、姉妹都市。 ・もうかる農業。 ・目玉食の開発（鶴首かぼちゃスープ、大房）。 ・町の農産物などを使い町おこしのための店などを出して呼び起せないだろうか。 ・子どもから大人まで来られるような所。 ・地産地消をもっとアピール。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ：利根川、水 ・利根川の水を使用したお米・野菜のアピール、他の市町村との提携 ・農家レストラン ・野菜の直売 ・町を巡れるコース ・一茶、他文化財を活かした観光事業 ・河川敷の利用。 ・蛍の里づくり ・親水公園を広げて活用。 ・親水公園の中に農家レストランなどがあると人が呼べるのではないか。 ・体験、楽しめる、食べられる。 ・桜まつりを盛り上げるよう企画する。 ・PR方法、TVに出す、道の駅。 ・食や文化の魅力を発信。 ・子どもから大人まで楽しめ（アスレチック等）、買い物ができる大型な建物があるとよいと思います。

分野	子育て、生活、教育	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い家族が移り住めるような町。 ・子育て支援（小児科、教育レベル、スポーツプログラム）。 ・教育で、少人数ゆえに内容、サポートともに充実させやすい。 ・英語など「何に」使うかが不明なところがある。 ・若い人を呼び込む。 ・単身者施策。 ・自然環境の良さ。 ・空家。 ・提携（姉妹都市）、地震、防災、住居、食等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい町。 ・高齢者が穏やかに暮らせる町。 ・空家など、ウエルネス大学と連携（寮等）。 ・廃校利用する、子どもたちの遊び場（アスレチック等）、会社の設立。 ・ウエルネス大学とのつながりで子どもたちの運動能力を伸ばせるよう力を入れる、イベントをする。

分野	交通	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整備。 ・栄橋の整備、栄橋の混雑。 ・都内へのアクセスは比較的悪くはない。 ・栄橋の混雑。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町のバスは料金を取り、他の町（病院など）に行かれる様にしてほしい。 ・バス優先、料金低下。

分野	健康	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が利用出来る体育館みたいなものがほしい（ジムみたいなものがあるとうれしいです）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント制度の導入（ウォーキング、体操などに参加すと商品券）。

Bグループ

分野	自然、土地、空家	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が沢山 ・自然が豊か ・利根川、小貝川がある ・土地がたくさんある（農地、休耕地等） ・土地利用。 ・空家、空店舗。 ・リタイヤ組の男性が外出する時、河川敷を利用。 ・空家は大切な資産として活用。 ・全体的に平坦な土地。 ・利根川の敷地の利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然（川、田畑等）を活かした町づくり ・町内の桜並木オーナー制度 ・桜以外の花木のオーナー制度 ・河川敷、自然、歴史を活かした散歩道、遊歩道、ウォーキングコース、サイクリング道。 ・布川地区に並木通りを作って欲しい（夏ウォーキングができない）。 ・豊かな自然、史跡、遊歩道を整備し、介護利用者に活用。 ・空き店舗の利用（家賃を安くして開業しやすくする）。 ・利根ニュータウンの隣の空地の活用。 ・利根川の河川敷にキャンプ場（自己完結型のキャンプ場）。

分野	農作物、農業	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物が美味しい ・道の駅 ・農産物直売所 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べるものは地産・地消を原則。（米、野菜、肉等） ・特産品を作ってアピール、①そば、②シイタケ・マイタケ生産、③芋 ・開業支援（農業を始める支援）。 ・町内、都心などで農業をやりたい人に講座を開く（農家に協力してもらおう）、農業で仕事ができるようにし、農地を活用、しばらく町が支援する。

分野	今ある資源の活用	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・使っていない体育館、グラウンドがある。 ・各団地の公園にトイレを作ってほしい。 ・余っている校舎、施設の有効利用。 ・役場への人の流れ ・図書館の蔵書のPR、図書館の紹介（知らない人も多い） ・ウエルネス大学の学食で、一般の人も安く食べられればありがたい。 ・ウエルネス大学が設置されているが、当時、場外馬券場の話もあったが、選択は良かったのか、否なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役場のホールや食堂、屋上の開放（ビアガーデン、満月の夜や月食の夜に開放し写真撮影） ・役場にクライミングウォールをつくる（子供用）。 ・廃校になった校舎の活用（文化教室等への貸し出し）。 ・使いやすい図書館施設、夜間・祝日の開館。

分野	地域交流（町内、町外、他市町村）	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント（桜、歴史、花火大会、おまつり、文化財） ・大都市との連携、体験学習等 ・各団地間の人の流れをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の商店街と交互に出店し交流。 ・川をはさんだ市町村で交流、連携イベント。 ・旧住民と新じゅうみんのコミュニケーションの場を作って欲しい。

分野	防災	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川、小貝川流域サミットがあったが、今どうなっているか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練（町民も参加）。 ・避難場所（経路の訓練）。 ・災害ボランティアバス、乗合い（役場出発、帰着）。

分野	子育て	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを出産すると、役場と保健センターの2カ所で手続きが必要。 ・小児科がない（産科も）。 ・子どもたちの通学が遠い。 ・子どもが遊べる、集まれる場所。 ・郷土愛を育てる（職場体験学習の受け入れ企業、天Pを増やす）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ手続き ・役場で保健センターの手続きができる。 ・空家を開放して、子どもと大人（高齢者も可）で過ごせる、交流ができるようにする（土・日・祝日、いつでも）。 ・保健センターを役場の分所にする（役場に遠い高齢者も便利）。 ・保育園の継続手続きの簡素化。 ・子どもたち向けの講座（仕事をする）を町のお店でワークショップ、または空き家で開く。

分野	高齢者	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし、単身者。 ・退職者の活用（年金生活者、人口が増えなければ）。 ・仕事を増やす、第3セクターの設立（新会社）、収入を年金+αにし、税金は低くする。 ・高齢者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活を支援する産業を積極的に進める町づくり。 ・農業以外の職業講座（手に職がついたり、子どもが仕事を町内でできるようなイメージが持てるかも）、講座で知り合った同士で企業がでできる仕組みも支援する。 ・廃校、空家を事務所・施設とした特区、介護施設を町主導で起業し、スタッフ、ボランティアも合せて募集する。 ・老人力、元気な高齢者をウリにする。 ・高齢者へのお手伝い、ご用聞きを仕事にする。 ・高齢者の方が外で楽しく遊べるように（医療費の削減につながる）。 ・高齢者が穏やかに暮らせる町。

分野	PR、情報、全般	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・PR不足。 ・製品は造っても、商品（売れる商品）にしないと売れない、情報発信。 ・仕事が人を呼ぶ、人が仕事を呼び込む（好循環）ようにする。 ・お金がないなら、知恵を使おう。 ・人口減少、町の経済縮小（税収）、人口減の加速、負のスパイラル。 ・転入者が少ない。 ・小さい町なので小回りが利くと思う（動きが取りやすい）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とねリンの活用、とねリングッズ。 ・情報共有がうまくできるように。 ・町議員と町民の同時参加のワークショップ。 ・住めば都のような町。 ・旧水戸街道が通った町、歴史を表現（全国版、柳田国男はややインパクト不足）、人に注目される（現在、歴史・城ブーム）。 *徳川家康が泊まった来見寺。

分野	交通	
	強み、弱み、課題等	方向性、アイデア等
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便。 ・栄橋の混雑緩和。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大利根交通との連携（福祉バス巡回）。 ・若草大橋の無料化。 ・町の店で買い物するとポイントがつき、交通の割引などに使える。 *利便性の確保、商店や農業の皆様との交流ができる *商店での買物や地元野菜の購入をすると得点キップ（1枚/100円）がもらえて利根交通・タクシーで使える

第1回の委員意見

「こんなまちに住みたい」をテーマとして、ワールドカフェ方式で、自由に話し合いました。委員意見は、以下のとおりです。

Aグループ	
<ul style="list-style-type: none"> ○情報技術的な施策が遅れている、仕事も。 ○英語も活用してこそ。 ○栄橋の混雑 ○若い家族が移り住めるような町。 ○農地の活用、Iターンでもできるのか。 ○病院へ行きやすいような交通網 ○計画したことの達成方法は、だいじょうぶかな。 ○生きがいを見つけ出せる町。 ○ひとり暮らしの安心できる町。 ○事故防止。 ○安心・安全のまち。 ○高齢者が穏やかに暮らせる町。 ○お金（歳入）はだいじょうぶかな？（計画だおれにはならない様に）。 ○データ収集（うらづけがある課題⇒方策）。 ○町の文化の発信が十分でない。 ○石佛・かっぱ、珍しいものが沢山あるのに知らない。 ○郷土愛。 ○通路の整備（せまい）。 ○車と人のとおるところの分離。 ○町民参加のソフト面のかいかく ○桜並木（ちゅとはんぱ）、人を呼ぶに沢山せいびする。 ○町内交通を100円均一乗り放題。 ○布佐駅への利便性の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物（野良ネコ、野良イヌ）に対する対応が十分でない。 ○犬や猫のフン等の始末（きれいな道路、公園を目指す）。 ○布川神社のおまつり、知っている人しか知らない。 ○単身者向けの施策は、他の自治体との差異を出せる。 ○若者が住みやすい街にするには働く所が欲しい。 ○田んぼが多くあるので、これをなんとか利用できないだろうか。 ○こんなまちには住みたくない（利根町のわるいところ）。 ○都市の利便性を優先しない（利便性は東京）。 ○田舎であって欲しい。 ○活用がむずかしい空家を無理に活用すべきではない。さら地化して別に活用？ ○利根町に何も無いと思われている。 ○町外に出た人が戻ってくる流れをつくる。 ○サイクリングコース、自転車で走って楽しい。 ○花火大会、川向こうと一緒にできないか。 ○川はさんで互いの市町村が協力できないか。

Bグループ

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">○税金が高い。○観光資源を活用して、他所からの人を大勢迎えられる町。○都会との交流。○食の開発。(利根町の目玉)。○若者の音楽イベント。○共助社会のあるまち。○住民どおしが仲良く出来る。○自然環境において持続可能なまち。○地産地消のあるまち。○東京と同じを目指しては良さがなくなる。○人の流れを作る、外に出て中を知る？○災害ボランティア。○桜並木道を増やす。景色の良い町。○安心な町として防災力の高い町づくり。○廃校の校舎の再利用。○安全のパトロール。○交通の便(栄橋が混んでいる 朝・夕)○空き家の問題。○耕作放棄地の活用。○バス停、学校問題、道路作り。○若者の仕事のできる町、運動場の公園作り。○セブンイレブン・コンビニ作り、イトウヨウカドウ作り。○情報発信しても、SNSがお年寄りには届かない。 | <ul style="list-style-type: none">○いなかすぎず、都会すぎず中途ハンパがちょうどいい。○住むには自然があつていい所。○今あるものが生かせるのが良いのでは？○情報発信をしてそれを求める人に来てもらう。○若い人を呼ぶ⇒その人達に住み続けてもらう。○働く所⇒どうしたら働くことができるか。○ショッピングする所と介護しせつの複合しせつ。○介護しせつ、働く人が必要になる⇒人がふえる。今いる人も必要。○利根町出身者がリターンしたくなる町作り。○食の魅力の発信。○親子(未就学～小学生)がつどえる場(ゆっくり座って話しながらそばで子ども達が遊べる)。○子育てしやすい町。○若者が来てもらえる町。○町内でおとしより中心にお金がまわる。○便利な方へ行ってしまい、町内でお金をしようひしてもらえない。○シャッター通り、町なんかかならんか。 |
|--|--|

Cグループ

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○栄から利根町をとおり、取手、布施に行く電車。 ○町のアピール（農産物等）は何かを決めて、施策を考えること。 ○地域交流、近隣市町村と連れいして、不断から交流が必要。 ○農産物を町外で消費することが必要である。 ○課題として議論していくと、人口が少ない、交通が悪い、等の問題になってグルグル回りとなるので基本を定めた方がよい。 ○長期計画として、常総鉄道を、仕貫から、竜ヶ崎、利根、取手を結んで町の活性化を図ること。 ○基本計画の策定は総花的にならない様メニューしぼること。 ○茨城県及び利根町は農業県、地域であることから、農業をメインとした施策を打ち出すこと。 ○自然があることが良いことなので水路整備をおこない、自然の回復を実施したら良い。 ○ウェルネス大学を活用して町の活性化を図る。 ○他の市などの病院へ行って頂けたら、老人はとてもうれしいんじゃないでしょうか？ ○農業の活性化、もうかる農業への転換。 ○道理をもう少し整備してほしい。 ○交通網の整備、鉄道、国道の誘致。 | <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校が遠い。人数が少ない。スクールバス、小中一貫校にすればいいのに。 ○イベント。 ○子どもがおもいきり遊べる場所がある（アスレチックのような遊具のある公園） ○子どもが利根町生まれで良かったと思える何か。 ○小児科がない。 ○桜の並木道のオーナー制度再開。 ○町民参加の防災くんれん。 ○若い家族が増え明るい町。 ○町内コミュニティバス。 ○大利根交通、小さいバスにして、料金を下げる。 ○子どもが遊べる場所がない（土日祝日就園以上）のでほしい。 ○農地用途の土地活用？ ○シャッターがしまっている店や空き家の有効活用。 ○空き家が少ない方がいい（気持ち的に暗くなる）。 ○他市町村と姉妹都市協定、体験移住、体験学習（農業）等のイベント。 ○町内外への交通の便を良くする（高齢者が多いので）。 ○交通の便がもう少し良くなればと思います。 ○産科が少ないので、安心して子供が産める町。 |
|---|---|